



国立精神・神経医療研究センター  
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

#### 【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で  
筋萎縮性側索硬化症と診断された方、特に疾患のない方

#### 【研究課題名】

筋萎縮性側索硬化症(ALS)の早期診断のための血中バイオマーカー探索

#### 【研究責任者】

村松里衣子（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 神経薬理研究部）

#### 【本研究の目的及び意義】

筋萎縮性側索硬化症の早期診断ができると、早期治療を実現させて症状の進行を和らげることができると期待されています。今回の研究では筋萎縮性側索硬化症の患者様の血液に含まれる分子を網羅的に（一度にたくさんの分子を）解析し早期診断のためのバイオマーカー（目印）を見つけることを目指します。

#### 【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、DNA

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報

提供する試料・情報の取得方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

#### 【研究期間】

利用月～2028年3月31日

#### 【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail : biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)